

2H03 町工場の工程お知らせサービス

プレゼン：3月10日 A会場 10:00～ 計画と実績の連携とスピード経営

対象業務の現状と取組み

お客様からみて発注先の工場内作業はブラックボックスであり、オーダーに対する進捗が見えにくい状況です。このため、以下の問題があります。

- お客様からの支給部品不足による生産工程遅れ
- 納期や進捗の問い合わせ対応のための作業増
→工場内でも工程進捗の回答に時間がかかる

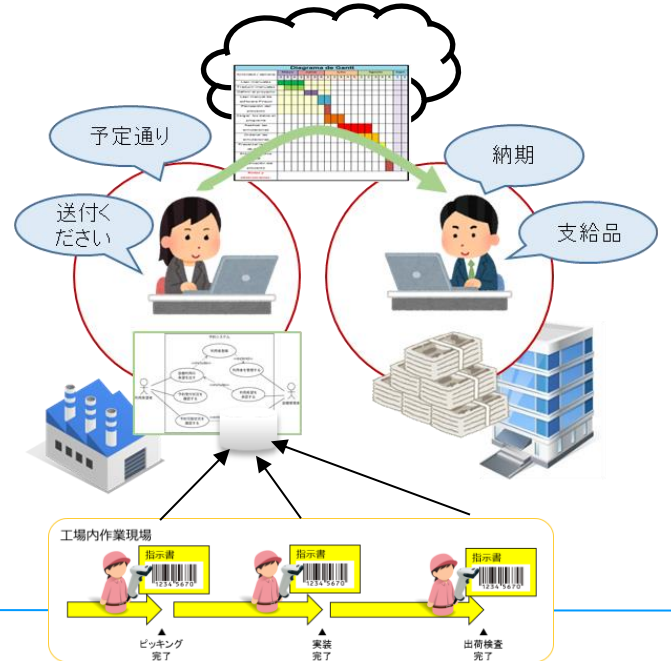


実証実験・業務シナリオ (TO-BE)・成果

町工場がお客様に対して、生産工程状況を発信します。

これにより、以下の効果が見込まれます。

- お客様の納期に対する不安が解消され、問い合わせも減ります。
- お客様は支給部品が必要なタイミングで納品が出来、工場内では、待ち時間なく生産が可能となります。
- 工場内での生産工程の見える化になります。



ファシリテータ：小川 文子 伊豆技研工業（株）
エディタ：宮田 宏 DTS（株）
メンバ：荒野 高志（株）インテック
メンバ：石川 広樹 伊豆技研工業（株）
メンバ：大田尾 一作 DTS（株）
メンバ：兼子 邦彦 小島プレス工業（株）
メンバ：川内 晟宏 ITコーディネータ協会
メンバ：暮沼 聖人 DTS（株）
メンバ：安井 大揮（株）光機械製作所

